

2021年自治体キャラバン 請願・陳情項目についてのアンケート

【1】1. 介護保険・高齢者福祉 担当課(高齡福祉課)電話(0531-23-3217)FAX(0531-23-3545)

メールアドレス(koureifukushi@city.tahara.aichi.jp)

(1) 第8期介護保険事業計画の保険料(第1号被保険者)を決めるに際し、取り崩した前期の介護給付費準備基金の状況についてご記入ください。【広域連合】

2020年度末の準備基金残高 (見込み) (A)	第8期保険料策定にあてて取り崩した準備基金(B)	取り崩し割合 $(B)/(A)$ (小数点第1位まで)
5,625,780 千円	取崩予定額 3,500,000 千円	62.2%

(2) 介護保険料の独自減免制度【広域連合】 → 2021年4月以降の変更は ()ある (○)ない
※2021年4月以降に改正された場合は、改正された条例・要項を添付してください。

①低所得者への保険料減免制度

1) 保険料の市町村独自の低所得者への減免制度がありますか。

(○)ある ()ない

2) 低所得者減免がある場合、その内容をご記入ください。(2021年4月1日現在)

・減免対象の規定(所得段階区分等)の内容

1. 対象者要件

所得段階が第3段階で、次の①から⑥のいずれにも該当する方

①市町村民税を課税されている方と生計を同じくしていないまたはその方から生活援助を受けていないこと。

②課税世帯の方の市町村民税の控除対象者となっていないこと。

③自らの居住の用に供する土地、家屋以外の土地または家屋を所有していないこと。

④介護保険料を滞納していないこと。

⑤健康保険の被扶養者となっていないこと。

⑥世帯の前年の収入が120万円(世帯員が1人増えるごとに35万円を加算)以下であること。

2. 減免額

第2段階の保険料年額へ減額

・保険料の全額免除はありますか。

(○)ない

()ある

・資産保有による制限はありますか。

()ない

(○)ある

・保険料減免分に対する一般財源からの繰り入れはありますか。

(○)ない

()ある

・申請は必要ですか。

(○)必要

()不要

3) 低所得者減免がある場合、その実績をご記入ください。

質問項目	2019年度	2020年度
保険料減免件数	147 件	4 件
保険料減免の金額実績	649,523 円	12,205 円

②収入減少を理由にした保険料減免制度

1) 収入減少を理由にした保険料減免制度がありますか。(コロナ関係の減免は除く)

(○)ある ()ない

2) ある場合、2021年4月1日現在の内容をご記入ください。(コロナ関係の減免は除く)

1. 対象者要件

次の①から③までの要件のいずれかに該当する方で、減免の申請をした日の属する年における合計所得金額世帯合算額の見積額とその前年における合計所得金額世帯合算額に対する割合が10分の5未満の方、かつ減免の申請をした日の属する年の前年(1月から3月の場合は前々年)における合計所得金額世帯合算額が300万円以下の方

①主たる生計維持者が死亡したとき、又はその者が心身に重大な障害を受け、若しくは長期間入院したことによりその者の収入が著しく減少したとき。

②主たる生計維持者の収入が、事業又は業務の休廃止、事業における著しい損失、失業等により著しく減少したとき。

③主たる生計維持者の収入が、干ばつ、冷害、凍霜害等による農作物の不作、不漁その他これらに類する理由により著しく減少したとき。
2. 減免内容(金額・割合)
 減免の申請をした日以後6月以内に到来する普通徴収の納期限又は特別徴収対象年金給付の支払が行われる日に係る保険料のうち、徴収猶予又は減免の申請をした日が属する年度中の普通徴収の納期限又は特別徴収対象年金給付の支払が行われる日に係る保険料の10分の5に相当する額

3)ある場合、その実績をご記入ください。(コロナ関係の減免は除く)

質問項目	2019年度	2020年度
保険料減免件数	3件	0件
保険料減免の金額実績	59,195円	0円

4)コロナ関係の減免の適用実績をご記入ください。

質問項目	2020年2月～3月	2020年度
保険料減免件数	251件	272件
保険料減免の金額実績	2,302,759円	14,735,592円

(3)保険料滞納の状況と処分件数について **[広域連合]**

質問項目		2019年度	2020年度
保険料滞納者数	保険料滞納者実人数	3,594	3,411
	保険料滞納者延べ件数	(調定件数) 20,919	(調定件数) 22,044
保険給付の制限	償還払い人数	49	46
	保険給付の一時差し止め人数	0	0
	3割負担人数	69	75
財産差押え	差押え実人数	0	0
	差押え件数合計	0	0

(4)介護保険利用料の独自減免制度 **[広域連合]** → 2021年4月以降の変更は ()ある (○)ない
 ※2021年4月以降に改正された場合は、改正された条例・要項を添付してください。

①利用料の市町村独自の低所得者への減免措置がありますか。

()ある → 実施年月()年()月 (○)ない

②市町村独自の利用料減免がある場合、その内容をご記入ください。(2021年4月1日現在)

1)減免対象の規定(所得段階区分等)の内容

--

2)訪問介護利用料の助成割合 ()

3)居宅サービス利用料の助成割合 ()

4)施設サービス利用料の助成割合 ()

5)利用料減免分に対する一般財源からの繰り入れはありますか。 ()ない ()ある

※一般会計から直接支給している場合も「ある」としてください。

③低所得者減免がある場合、その実績をご記入ください。

質問項目	2019年度	2020年度
利用料減免件数	件	件
利用料減免の金額実績	円	円

(5)特別養護老人ホームの待機者について ※人数は名寄せしてご記入ください。**[広域連合]**

①特別養護老人ホームの待機者(要介護3以上)は、何人ですか。(265)人(2019年6月現在)

②要介護1、2の入所者数、待機状態にある人を把握していますか。

(○)把握している → 入所者数(173)人 待機者数(39)人 (2019年6月現在)

()把握していない

(6)施設サービス基盤整備 **[広域連合]**

①特別養護老人ホーム等の整備状況について

※()カッコ内には新規施設数、新規定員数を再掲してください。

	第7期	第8期

	計画		実績		計画	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
特別養護老人ホーム	29 (1)	2,512 (100)	29 (1)	2,512 (100)	29 (0)	2,512 (0)
介護老人保健施設	18 (0)	1,638 (0)	17 (0)	1,620 (0)	17 (0)	1,620 (0)
認知症グループホーム	68 (3)	1,206 (54)	69 (2)	1,233 (36)	74 (5)	1,323 (90)
特定施設入居者生活介護事業所	13 (0)	630 (0)	13 (0)	630 (0)	13 (0)	630 (0)

※特別養護老人ホーム及び特定施設入居者生活介護事業所については、地域密着型施設を除く。

②サービス付き高齢者住宅等の設置状況について(2021年3月末現在)

	施設数	定員	入居者数
サービス付き高齢者住宅	1	不明	不明
住宅型有料老人ホーム	4	不明	不明

※サービス付き高齢者向け住宅及び住宅型有料老人ホームは介護保険外施設であるため、詳細な状況は把握していない。

(7)介護施設の夜勤形態について[広域連合]

①職員の夜勤時の就労形態はどのようになっていますか。施設種別ごとにご記入ください。

	設置施設数	2交替(12時間以上の長時間)夜勤	3交替夜勤	2交替と3交替が混在	その他
特別養護老人ホーム	30	不明	不明	不明	不明
介護老人保健施設	17	不明	不明	不明	不明
グループホーム	69	不明	不明	不明	不明
小規模多機能	13	不明	不明	不明	不明
看護小規模多機能	6	不明	不明	不明	不明
短期入所	74	不明	不明	不明	不明

②上記施設の内、夜勤配置人員が1名になる場合がある施設数をご記入ください。(たとえ1病棟・1フロア・1ユニットであっても、実態があれば数えてください。なお、同じシフトで働くスタッフの休憩時に1人になる場合も含みます。)

	2交替(12時間以上の長時間)夜勤	3交替夜勤	2交替と3交替が混在	その他
特別養護老人ホーム	不明	不明	不明	不明
介護老人保健施設	不明	不明	不明	不明
グループホーム	不明	不明	不明	不明
小規模多機能	不明	不明	不明	不明
看護小規模多機能	不明	不明	不明	不明
短期入所	不明	不明	不明	不明

(8)総合事業

①総合事業の対象者数をお答えください。(857)人 [広域連合]

②総合事業の事業所数・利用人数 [広域連合] ただし、通所型サービスCは[市町村回答]

※事業所数は各年4月1日現在、利用者数は月平均(2021年度は4～6月の平均)をご記入ください。

サービス	事業所数		利用人数	
	2020年	2021年	2020年度	2021年度
現行の訪問介護相当の訪問介護	101	104	1,597	1,594
生活支援型訪問A(緩和した基準)	26	25	117	111
現行の通所介護相当の通所介護	240	243	3,544	3,551
通所型サービスA(緩和した基準)	34	34	278	308
通所型サービスC(短期集中予防)	3	3	4	5

③総合事業における通所サービスについて、利用期間制限のあるものはありますか。

(○)ある ()ない その他()

→ある場合

1)そのサービスの名称:(**短期集中通所サービス**)

2)制限期間の数字をご記入ください。

・(13)週間で終了(必要であれば最大 26 週を提供上限と認める)

・()週間後、クール期間()週間を経て継続、()週間で終了

(9)住宅改修・福祉用具などの受領委任払い制度 (該当に○印を付し、実績などをご記入ください)

[広域連合]

質問項目	実施予定なし	検討中	実施している	実施年月日	2020年度実績
住宅改修	○				件
福祉用具	○				件
高額介護サービス	○				件

(10)介護保険事業計画策定委員会 **[広域連合]**

①計画策定委員会の公開 (○)公開している ()公開していない

②計画策定委員会の公募枠

第8期計画策定委員会(実績) ()ない (○)ある → (1)人

第9期計画策定委員会(予定) ()ない (○)ある → ()人 (○)未定

(11)高齢者福祉施策 **[市町村]**

①高齢世帯などへのゴミ出し、安否確認、日常生活支援、買い物支援の実施状況をご記入ください。

支援内容	実施	事業の主体
ゴミ出し援助	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	(○)自治体 ()新総合事業 ()その他事業 担い手 田原市社会福祉協議会委託(生活ささえあいネット事業)
安否確認・見守り	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	(○)自治体 ()新総合事業 ()その他事業 担い手 高齢者支援センター、民生委員、自治会
日常生活支援	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	(○)自治体 ()新総合事業 ()その他事業 担い手 田原市社会福祉協議会委託(生活ささえあいネット事業) 田原市シルバー人材センター
買い物支援	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	(○)自治体 ()新総合事業 ()その他事業 担い手 田原市社会福祉協議会委託(生活ささえあいネット事業)

※事業の主体が複数ある場合、代表的な事業を記入の上、その他事業がわかる資料を添付ください。

②高齢者や障害者への外出支援施策について、該当項目に○印を付し必要事項をご記入ください。

地域巡回バス	実施の有無	(○)実施している ()していない ()検討中	
	地域巡回バスの名称	田原市ぐるりんバス	
	利用料	高齢者(70 歳以上) 6,000 円(3,000 円×2 冊)分の回数乗車券購入助成券を交付 障害者 6,000 円(3,000 円×2 冊)分の回数乗車券購入助成券を年 2 回交付 一般 100 円又は 200 円 子ども 小学生以下無料	
	その他特記事項		
	2020年度の運行実績	高齢者:ぐるりんバス回数乗車券購入の助成 3,000 円券を 580 枚交付(290 人) 障害者:ぐるりんバス回数乗車券購入の助成 3,000 円券を 53 枚交付(20 人)	
タクシー代助成	実施の有無	(○)実施している ()していない ()検討中	
	各対象者の要件及び助成内容		
	対象者	助成要件	2020年度の助成実績
	高齢者	市内在住で令和3年3月31日時点の年齢が70歳以上の方	500円券を33,996枚交付(2,833人)
障害者	市内在住で令和3年3月31日時点で「1・2級の	500円券を1,734枚	

		下肢、体幹、視覚障害者」「1級の内部障害者」「A判定の知的障害者」「1・2級の精神障害者」の方	交付(116人)
	要介護認定者	—	()人
高齢者運転免許自主返納者への外出支援の施策	<input checked="" type="radio"/> 実施している ()していない ()検討中 内容 ・田原市ぐるりんバスの1年間無料乗車券の交付 ・豊鉄バス(株)の路線バスを1乗車現金100円で利用できる定期券「元気バス」の引換券の交付 ・運転経歴証明書の発行を受けた方へ、市内加盟店でのお買い物に使える共通ポイントカード「たまぼカード」のポイント1,000ポイント引換券の交付		

③高齢者向けの健康体操・脳トレ健康体操などの事業主体とその内容についてご記入ください。

事業名	事業主体	事業内容	補助金の有無と金額
一般介護予防事業	市(地域支援事業)	すこやか元気体操、閉じこもり予防教室、音楽療法、はつらつシニア体操等で、体操や脳トレ、音楽活動を通じた認知症予防を行ない介護予防に取り組んでいる。	無し

④サロン・認知症カフェなど高齢者のたまり場事業の担い手とその内容についてご記入ください。

事業名	担い手	事業内容	補助金の有無と金額
認知症地域支援・ケア向上事業	認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員	認知症カフェ(花より団子茶屋)を開催し、交流、介護・健康等に関する相談	無し
地域福祉ネットワーク事業	社会福祉協議会、一般市民	社会福祉協議会に委託し、居場所、生きがい、つながりの場を市民に提供している。	社会福祉協議会から各サロンへ開催状況に応じ助成あり。 20,000円から48,000円

⑤加齢性難聴者への補聴器助成がある場合、事業名、対象者、助成額、助成実績をご記入ください。

事業名	対象者	助成額	2020年度助成実績 (人数・金額)
助成なし			人 円

(12)介護認定者の障害者控除の認定について

①認定書の発行枚数実績は → 2019年度(49)枚、2020年度(217)枚

②介護認定者に障害者控除の申請書または認定書を自動的に送付していますか。

()申請書を送付している → 2019年度(-)件、2020年度(807)件

()認定書を送付している → 2019年度()件、2020年度()件

()自動的に送付していない

③認定書の発行の要件(複数回答可)

()介護認定者のうち、要支援2以上は基本的に該当する

()介護認定者のうち、要介護1以上は基本的に該当する

()介護認定時の認定調査票または主治医の意見書で判断している

()要介護認定を受けていない者に対しては、医師の証明書(意見書)の提出の上、判断している

()その他、次のような方法で判断している()

2. 国民健康保険 担当課(保険年金課)電話(0531-23-2149)FAX(0531-23-0180)
メールアドレス(hokenen@city.tahara.aichi.jp)

(1) 国保保険料(税)(医療給付費分と後期高齢者支援金分の合計)について

	区分	定義	2020年度	2021年度
保険料・税率	所得割	旧但し書き額	× (7.8)%	× (7.8)%
	資産割	固定資産税額	× (-)%	× (-)%
	均等割	加入者1人につき	33,600 円	33,600 円
	平等割	1世帯につき	37,200 円	37,200 円
1人当たり調定額(平均保険料)※予算額			104,381 円	87,772 円
一般会計からの1人当たり法定外繰入額			予算 7,555 円	予算 19,646 円
※2020年は予算・決算、2021年は予算			決算 6,680 円	

(2) 保険料(税)の市町村独自の減免制度 → 2021年4月以降の変更は ()ある (○)ない
※2021年4月以降に改正された場合は、改正された条例・要項を添付してください。

①市町村独自の低所得者減免

1) 低所得者減免を実施していますか。 ※生活保護受給期間の減免は除く
(○)ある ()ない

2) 低所得者減免を実施している場合は、その要件をご記入ください。

7.5.2 割軽減世帯で、均等割及び平等割のみ課税される場合並びに世帯の総所得金額等が310万円以下の場合、均等割・平等割を1割減免。
7.5.2 割軽減に該当しない世帯で、均等割及び平等割のみ課税される場合並びに市民税非課税世帯かつ世帯の総所得金額が135万円以下の場合、均等割・平等割を3割減免。

3) 低所得者減免を実施している場合、実績をご記入ください。

質問項目	2019年度	2020年度
保険税減免件数	3,446 件	5,225 件
保険税減免の金額実績	36,821,210 円	68,268,400 円

4) 低所得者減免に対する一般財源からの繰り入れはありますか。 (○)ある ()ない
※一般会計から直接支給している場合も「ある」としてください。

②収入減少を理由にした保険料(税)減免制度(コロナ関係の減免は除く)

1) 収入減少を理由にした保険料(税)減免制度がありますか。
(○)ある ()ない

2) ある場合、2021年4月1日現在の内容をご記入ください。(コロナ関係の減免は除く)

前年合計所得 310万円以下
当年合計所得見込額
当年合計所得見込額の減少割合 3割以上
減免割合 最小(2)割～最高(8)割

3) ある場合、その実績をご記入ください。(コロナ関係の減免は除く)

質問項目	2019年度	2020年度
保険料減免件数	0 件	0 件
保険料減免の金額実績	0 円	0 円

③コロナ関係の収入減少を理由にした保険料(税)減免制度

1) 減免基準(2021年度)

(○)国基準と同じ ()国基準を拡大→拡大内容()

2) コロナ関係の減免の適用実績をご記入ください。

質問項目	2020年2月～3月	2020年度
保険料減免件数	38 件	44 件
保険料減免の金額実績	897,100 円	8,617,700 円

④子どもの均等割などの減免

1) 子どもの均等割保険料(税)の減免制度がありますか。
(○)ある ()ない

2)ある場合、2021年4月1日現在の内容をご記入ください。

就学未満児の均等割を3割減免

3)ある場合、その実績をご記入ください。

質問項目	2019年度	2020年度
保険料減免件数	594 件	508 件
保険料減免の金額実績	6,891,696 円	5,493,600 円

※2020年度は
本算定時

(3)コロナ関係の傷病手当金の適用実績

質問項目	2019年度	2020年度
申請件数	0 件	1 件
決定件数	0 件	1 件
金額実績	0 円	220,000 円

(4)国保被保険者数・世帯数・滞納世帯数・資格証明書交付世帯数・短期保険証交付世帯数

質問項目	2020年6月1日	2021年6月1日
被保険者数	20,192	19,631
世帯数	9,867	9,723
滞納世帯数	1,815	1,028
資格証明書交付世帯数	0	0
短期保険証交付世帯数	198	165
留め置き世帯数(※1)	0	0
未交付・未更新世帯数(※2)	71	66

※1・2は、国保加入者だが、保険証・短期保険証・資格証明書が届いていない人数で、※1は「交付した保険証・短期保険証の留め置き世帯数」、※2は「保険証・短期保険証・資格証明書のいずれも交付していない未交付・未更新世帯数」

(5)資格証明書 ※2021年6月1日現在でご記入ください。

①資格証明書の交付除外で配慮している点がありますか。

- ()国の基準どおり実施している
(○)独自に配慮し、次の場合は交付対象から除外している
(○)高校生世代以下の子どものいる世帯
(○)障害者・母子家庭等医療費助成制度の対象世帯
()病弱者のいる世帯
()次の場合は、交付対象から除外している

②資格証明書発行世帯で緊急時の短期保険証への切り替えについての基準をご記入ください。

現在、資格証明書発行世帯はない。

(6)短期保険証 ※2021年6月1日現在でご記入ください。

①有効期間別(交付時から有効期限が切れるまで)の交付数

※資格証明書交付世帯の高校生世代以下の短期保険証は除く

・1か月以内()人 ・2か月()人 ・3か月(247)人 ・4か月()人
・5か月()人 ・6か月(69)人 ・1年()人 ・その他()

②短期保険証発行の基準をご記入ください。

被保険者証更新時(隔年8月)の初日において、前年度以前に課税された国保税の滞納額が10万円以上あり、戸別訪問、電話催告、文書催告等を行っても納付に応じない世帯。

(7)保険料(税)滞納者への差押え等

①差押えの基準をご記入ください。

納付資力があるにも関わらず、自主納付に応じない、約束を守らない滞納者

②以下の件数をご記入ください。

質問項目		2019年度	2020年度	
予告通知書の発行		108	92	
差押え	差押え世帯数	101	82	
	差押え件数合計	108	92	
	件数 内訳	不動産	0	0
		預貯金	79	59
		生命保険(内学資保険)	28(0)	33(0)
その他		1(給与)	0	
競売による現金化		0	0	
徴収の猶予	申請件数 (コロナ特例)	0	0(15)	
	許可件数 (コロナ特例)	0	0(15)	
換価の猶予	申請件数	0	0	
	許可件数	0	0	
	職権件数	0	0	
滞納処分の停止	適用件数	85	49	
	件数 内訳	無資力	21	14
		生活保護	9	5
		生活困窮	3	0
		所在不明	52	30
その他	0	0		

(8) 一部負担減免制度

①一部負担減免制度を実施していますか。

(○)実施している ()検討中である ()実施の予定がない

※2021年4月以降に制度が改正された場合は、改正された条例・要項を添付してください。

②相談・申請・適用の実績

質問項目	2019年度	2020年度
一部負担金の相談件数	0 件	0 件
一部負担金の申請件数	0 件	0 件
一部負担金減免の延べ件数	0 件	0 件
一部負担金減免の金額実績	0 円	0 円

(9) 高額療養費の支給申請手続きの簡素化

①70～74歳 (○)簡素化済み(平成14年4月受診分から実施) ()検討中 ()予定ない

②70歳未満 ()簡素化済み(年 月受診分から実施) (○)検討中 ()予定ない

(10) 国保運営協議会

①運営協議会の公開 (○)公開していない ()公開している

②運営協議会委員の公募枠 (○)ない ()ある → ()人

3. 税の滞納について 担当課(収納課)電話(0531-23-7402)FAX(0531-23-0180)

メールアドレス(shuno@city.tahara.aichi.jp)

(1)滞納者のうち地方税法第15条(納税緩和措置)の適用について、件数をご記入ください。

質問項目		2019年度	2020年度
徴収の猶予	申請件数 (コロナ特例)	0	0(15)
	許可件数 (コロナ特例)	0	0(15)
換価の猶予	申請件数	0	0
	許可件数	0	0
	職権件数	0	0
滞納処分の停止	適用件数	85	49
	件 無資力	21	14

	数 内 訳	生活保護	9	5
		生活困窮	3	0
		所在不明	52	30

4. 生活保護 担当課(地域福祉課) 電話(0531-23-3512)FAX(0531-23-3545)
 メールアドレス(fukushi@city.tahara.aichi.jp)

※生活保護利用者向けの説明パンフレット(生活保護のしおりなど)が2021年4月以降に改正された場合は、新しいパンフレットを添付してください。

(1) 生活保護の申請件数とその保護件数について

質問項目	2019年度	2020年度
相談件数	55 件	106 件
申請件数	17 件	25 件
そのうち保護開始件数	17 件	25 件

(2) 受給世帯数と人数

質問項目	2020年4月分	2021年4月分
受給世帯数	88 世帯	92 世帯
うち、外国人世帯数	3 世帯	4 世帯
受給人数	108 人	111 人
うち、外国人人数	3 人	4 人

(3) 扶養照会について

質問項目	2019年年度	2020年度
扶養照会した世帯数	17 世帯	20 世帯
そのうち、援助が受けられるようになった世帯数	0 世帯	1 世帯

(4) 世帯類型別被保護実世帯数(2021年4月分)

	合計	高齢世帯	母子世帯	傷病世帯	障害世帯	その他
世帯数	92	51	5	11	17	8
構成比	100%	55%	5%	12%	19%	9%

(5) 車の保有(2020年度)

2020年度 保有世帯数	4 世帯
【保有理由の内訳】	
障害者の通勤・通院等	0 世帯
公共交通機関の利用が困難な地域の居住者の通勤	0 世帯
公共交通機関の利用が困難な地域の勤務先に通勤	0 世帯
深夜勤務等の業務従事者の通勤	0 世帯
その他(概ね 6 か月以内の就労により保護から脱却 することが見込まれるため処分保留)	4 世帯

(6) エアコン設置状況

	2018年度	2019年度	2020年度
申請件数	0 件	1 件	0 件
給付件数	0 件	1 件	0 件
給付金額	0 円	50,000 円	0 円

※以下は市のみお答えください

(7) 生活保護担当職員(ケースワーカー)及び1職員(同)当たりの担当受給者について

	生活保護担当職員について			1職員当たりの担当受給者数	
	正規職員数	生保担当の平均在任年数	非正規職員数	世帯数	人数
2020年4月現在	2 人	年 6 カ月	0 人	44 世帯	54 人
2021年4月現在	2 人	年 6 カ月	0 人	46 世帯	55.5 人

5. 福祉医療など 担当課(保険年金課医療係)電話(0531-23-3514)FAX(0531-23-4270)
メールアドレス(kourei@city.tahara.aichi.jp)

- (1) 福祉医療(子ども・障害者・ひとり親・高齢者の医療費助成制度)について、2020年4月1日以降、制度(助成内容・対象範囲・対象要件・自己負担・支払方法など)を改定(予定を含む)していますか。
※該当項目に○印を付してください。

福祉医療の種類	改定なし	改定あり	改定予定あり
子ども医療費助成制度		○	
障害者医療費助成制度	○		
精神障害者医療費助成制度	○		
ひとり親医療費助成制度	○		
後期高齢者福祉医療費給付制度	○		
妊産婦医療費助成制度	未実施		

- (2) 前記(1)の質問で「改定あり」、「改定予定あり」の場合、実施年月日・改定内容をご記入ください。

(実施年月日) **2020年4月1日(2020年4月診療分から)**
(改定内容) **高校生等(18歳の年度末まで)の入院医療費の保険診療自己負担分の助成を追加**

6. 子育て支援策 担当課(子育て支援課)電話(0531-23-3513)FAX(0531-23-3545)
メールアドレス(jidou@city.tahara.aichi.jp)

- (1) 「子どもの貧困対策推進法」を受けた、貧困対策計画について

① 貧困対策計画の有無について (○)ある(令和2年3月策定) ()ない
※子ども子育て支援総合計画などに含むものも「ある」としてください。

② 自立支援給付金事業について (○)実施(年 月実施) ()未実施
2020年度実績 (0)件 給付額(0)円
2021年度予算 (5)件 給付額(4,703,000)円

③ 日常生活支援事業について (○)実施(年 月実施) ()未実施
2020年度実績 (0)件 給付額(0)円
2021年度予算 (5)件 給付額(114,600)円

④ 教育・学習支援について (○)実施(2016年5月実施～) ()未実施
2020年度実績 (3)カ所(38)人 実施時期(10～3月、木曜業後、年間15回程度)
2021年度予算 (4)カ所(65)人 実施時期(5～3月、木曜業後、年間30回程度)

- ⑤ 「無料塾」、「こども食堂」への支援について

1) 「無料塾」への支援 (○)実施(2016年5月実施) ()未実施
2020年度実績 (3)カ所(38)人、2021年度予算 (4)カ所(65)人
支援方法(学校や市民館の一室を借り、木曜授業後に年間30回程度開設)

2) 「こども食堂」への支援 ()実施(年 月実施) (○)未実施
2020年度実績 ()カ所()人、2021年度予算 ()カ所()人
支援方法()

- (2) 就学援助

※就学援助に関する保護者向けの案内文書を添付してください。

- ① 就学援助受給者数・予算額をご記入ください。

	2020年度	2021年度
受給者数	332人	323人
受給割合	6.7%	6.6%
支給額	26,739,938円	31,831,000円

※受給割合は、小数点第1位までご記入ください。
※2021年度の支給額は見込額をご記入ください。

②就学援助の認定対象基準をご記入ください。

生活保護基準額の(**1.25**)倍・金額()円

③申請書の受付先 ()市町村窓口 (○)学校 ()窓口と学校のどちらも可

④就学援助の項目について

- (○)学用品費 ()体育実技用具費 (○)入学準備金 (○)通学用品費 ()通学費
(○)修学旅行費 ()クラブ活動費 ()生徒会費 ()PTA会費 (○)給食費
(○)校外活動費(宿泊を伴わないもの) (○)校外活動費(宿泊を伴うもの)
()めがね・コンタクトレンズ (○)卒業記念品 ()オンライン学習通信費
()その他()

⑤日本スポーツ振興センター掛け金について

- ()就学援助の対象としている
(○)すべての児童の掛け金を公費助成している
()就学援助の対象とせず、すべての児童の掛け金の公費助成も行っていない

(3)給食費の補助・減免について(就学援助家庭への減免は除きます)

- ①学校給食費に市町村独自の補助・減免を行っていますか。(例:半額補助、第2子以降無料など)
()徴収していない ()補助・減免を行っている ()検討中 (○)行っていない
※徴収していない、または補助・減免を行っている場合は、具体的な内容をご記入ください。

②保育施設等の給食費に国の基準を上回って市町村独自の補助・減免を行っていますか。

- ()徴収していない (○)補助・減免を行っている ()検討中 ()行っていない
※徴収していない、または補助・減免を行っている場合は、具体的な内容をご記入ください。

18歳未満の児童がいる世帯の3人目以降の3歳以上の児童の主食、副食費を免除する

(4)保育について

①保育施設の数について(2021年4月1日現在)

保育施設の種類		施設数
認可保育所 ※保育所型認定こども園・ へき地保育所を含む	公立	17
	私立	1
認定こども園	幼保連携型	3
	幼稚園型	
	保育所型(認可保育所と重複)	17
	地方裁量型	
地域型保育事業	家庭的保育事業	
	小規模保育事業A型	
	小規模保育事業B型	
	小規模保育事業C型	
	事業所内保育所事業	
	居宅訪問型保育事業	
認可外保育施設	全体数	6
	指導監督基準を満たさない施設	6
	企業主導型保育事業	

7. 障害者施策 担当課(地域福祉課) 電話(0531-23-3697) FAX(0531-23-3545)
 メールアドレス(fukushi@city.tahara.aichi.jp)

(1) 入所施設(2021年7月時点)

- ・入所施設設置数 (2)カ所
- ・設置する施設の入所待機者数 (0)人 ※複数施設の場合は名寄せしてご記入ください。
- ・待機者数の対前年同月比(100.0)%
- ・()入所待機者数は把握していない

(2) グループホーム(2021年7月時点)

①グループホーム設置数(4)カ所 対前年比(100.0)%

②共同生活援助支給決定数 31人 対前年比(106.8)%

③障害者グループホームの体制について

- 1)夜勤体制をとっているところ GH (2)カ所
- 2)宿直体制をとっているところ GH ()カ所
- 3)夜間通報体制をとっているところ (4)カ所
- 4)夜勤体制を複数でおこなっているところ ()カ所

④県の補助だけではなく、自治体独自でグループホームに対する補助がありますか。

- ()ある → ある場合どんな補助ですか(社会福祉施設等整備費補助※GHに限らず)
- ()ない

(3) 訪問系各サービスの支給状況(2021年7月時点)

サービス	支給者数(人)	昨年同月比(%)	最多支給時間数(時間)	平均支給時間数(時間)
居宅介護	72	150.0	50.0	18.4
重度訪問介護	0	0	0	0

地域生活支援事業

移動支援	56	112.0	21.0	6.1
------	----	-------	------	-----

※最多支給時間は2021年7月の1カ月。平均時間は1カ月あたりでご記入ください。

(4) 短期入所について 2021年7月時点

- ・短期入所支給者数(96)人、昨年同月比(342.8)%、最多支給日数(31)日、平均支給日数(8.6)日
- 年間 180 日以上利用可(短期入所)とする支給者数(5)人

(5) 介護保険の被保険者が障害福祉サービスを上乗せ利用する場合の条件

- ()介護保険サービスのみで、必要なサービスを確保できない時
 - ()何らかの条件を設けている。
 - ()要支援の該当者は、上乗せができない。
 - ()障害者手帳所持者(肢体不自由の身体障害者手帳1級所持者に限る)
 - ()介護保険の要介護度が要介護5の者
 - ()介護保険サービスの約半分以上を訪問介護が占めていること 等
- ※上記の条件の根拠を詳しくご記入ください。

(6) 2018年4月からはじまった高齢障害者の利用者負担軽減制度の対象者数

2020年度支給者総数	2021年度支給予定者総数	前年度比(小数点1位まで)
0人	0人	100.0%

8. 任意予防接種の助成 担当課(健康課)電話(0531-23-3515)FAX(0531-23-3810)

メールアドレス(kenko@city.tahara.aichi.jp)

(1) 次のワクチンの助成を実施している場合、それぞれの助成内容をご記入ください。

ワクチンの種類	対 象	助成額 (1回)	自己負担 (1回)	助成開始または予定年月
おたふくかぜ	1歳から2歳未満	2,000 円	円	平成 31 年 5 月
带状疱疹		円	円	
子どものインフルエンザ		円	円	
麻しん(接種漏れの人)		円	円	

(2) 高齢者用肺炎球菌ワクチン

① 高齢者用肺炎球菌ワクチン助成について、定期・任意それぞれの助成内容をご記入ください。

ワクチンの種類	対 象	助成額 (1回)	自己負担 (1回)	助成開始または予定年月
高齢者用肺炎球菌(定期)	①接種日に 60～64 歳の方で心臓・腎臓または、呼吸器の障害等級が 1 級の方及びヒト免疫不全で同程度の状況にある方で23価ワクチンを未接種者の方 ②年度末年齢 65・70・75・80・85・90・95・100歳の23価ワクチンを未接種者の方	6,540 円 (本年度非課税世帯 8,540 円)	2,000 円 (本年度非課税世帯は、0 円)	平成 26 年 10 月
高齢者用肺炎球菌(任意)		円	円	

② 2回目の任意予防接種を実施していますか。

() 実施している → () 1回目を助成していない人が対象 () 1回目を助成した人も対象
(○) 実施していない () 検討中

9. 健診事業 担当課(健康課)電話(0531-23-3515)FAX(0531-23-3810)

メールアドレス(kenko@city.tahara.aichi.jp)

(1) 産婦健診を何回実施していますか。回数と開始年月をご記入ください。

2回実施

平成 29 年度から 1 回目を開始。令和 3 年度から 2 回目を開始。(各年度ともに、4月1日母子健康手帳交付者から対象とする。)

【2】国または愛知県に対して既に意見書を提出している項目と提出年月日を教えてください。

※2020年9月以降の提出分をご記入ください。

	意見書の種類	提出年月日
国	①75歳以上の2割負担をはじめ患者負担増の計画中止を求める意見書	年 月 日
	②国民健康保険の国庫負担引き上げ等を求める意見書	年 月 日
	③若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書	年 月 日
	④介護保険制度の改善を求める意見書	年 月 日
	⑤子どもの医療費無料制度創設を求める意見書	年 月 日
	⑥障害児・者の「暮らしの場」の整備を求める意見書	年 月 日
	⑦コロナ感染症に係る医療・介護・福祉・保育等への支援を求める意見書	年 月 日
県	①福祉医療制度を守り、拡充を求める意見書	年 月 日
	②国民健康保険への支援を求める意見書	年 月 日
	③コロナ感染症に係る医療・介護・福祉等への支援を求める意見書	年 月 日

※2020年9月以降に【2】に関する国または県に提出した意見書の写しを添付してください。
☆ご協力ありがとうございました。